

中国移転価格税制最新動向 一文書作成内製化と調査対応一

昨年度は特別納税調整実施弁法の適用初年度となり、多くの企業が移転価格同時文書を作成しました。2010年度以降は本格的な移転価格調査の執行が予想されております。また、現下の経済不況のなか、赤字企業に対し同時文書作成を義務づけるなど新たな動きも見られます。

本セミナーでは、移転価格データベースの利用方法と、移転価格調査を念頭においた同時文書の作成、調査対応の留意点など実践的な問題について解説いたします。

~セミナーの主な概要

第1部

- ・移転価格対応の部分内製化とは？
- ・実際の企業の実例をもとに解説
- ・経済分析上の留意点
- ・当局との意見の相違点を最小限にするために、恣意性を排除した合理的な経済分析
- ・移転価格文書の内製化
- ・移転価格モジュールを使用した自社内での文書作成方法のご紹介
- ・中国SATおよび日本国税当局におけるデータベースの利用方法

第2部

- ・調査現場の視点から、「単一製造機能」とは何か、TNMMの選択による課税リスクなど文書作成における留意点についての解説
- ・同時文書内製化の留意点について分かりやすく説明。
- ・赤字会社の対応、移転価格調査をきっかけにAPA締結、黒字化に成功した実例の紹介。
- ・中国における移転価格調査対応について、豊富な経験を有する専門家の解説。

日 時： 4月20日(火) 受付開始13時00分 セミナー13時30分～16時45分 (休憩、質疑応答含む)

定 員： 50名(先着順とさせていただきます)

場 所： ANAインターコンチネンタル(東京都港区赤坂1-12-33) 地下1階 ブリズム
<http://www.anaintercontinental-tokyo.jp/access/index.html>

参加費： 一般10,000円(税込) (4月16日までに振込願います、振込先は追ってご連絡いたします)
 (東京マイツ顧問契約のお客様は5,000円、他のマイツグループとご契約のお客様は7,000円となります)

講 師： 第1部講師 ピューロー・ヴァン・ダイク日本支社 :石田 英博
 第2部講師 株式会社 東京マイツ 取締役 公認会計士 :工藤 敏彦

[ご協賛会社の紹介]

ピューロー・ヴァン・ダイク社は、移転価格調査におけるデファクトスタンダードとして、米国IRS、中国国家税務総局、OECDをはじめ欧州主要国・日本国内の税務当局などが利用している企業財務データを提供しています。
 データベースは、欧州・アジア太平洋・中国・BRICs・北米の約4,300万社の上場・未上場企業のデータを、会計基準の異なる海外企業比較が可能なグローバル形式での勘定科目により提供しています。

~ ご連絡・詳細はセミナー事務局又は弊社HPまで ~ マイツホームページ <http://www.myts.co.jp>

株式会社東京マイツ 東京都港区赤坂2-19-4 FORUM赤坂10階

(TEL)03-5549-2021 (FAX)03-5549-2023 担当:井手 (e-mail) yide@myts.co.jp

MYTS

検索

貴社名

お名前

ご参加人数

人

お電話番号:

FAX番号:

e-mail:

質問がございましたらお書きください。

弊社グループ会社とご契約のお客様は、下記該当するご契約場所に を囲んで下さい。

東京 大阪 京都 名古屋 大連 天津 上海 蘇州 広州